



新しい年が明けました。いかがお過ごしでしょうか。私は年末年始、娘の外泊が出来ず病院通いでした。病棟でも何人かが点滴をしたまま年を越しました。家族も大変ですが、病院ではドクターやナース、防災センター、厨房など大晦日も夜遅くまで、また三が日もなく仕事をしていていました。感謝です。

今年酉年。  
ニワトリは夜明けに鳴くことから、闇を破り光を呼ぶとして神聖視されている動物のようです。良いこともたくさん呼んでくれそうです  
2005年が、あなたにとって素敵な年になりますように。

#### <第115回 ほほえみの会>

新しい方と、先生を含め6人の参加でした。

▽ 3歳10ヶ月男の子、急性骨髄性白血病。10月頃から微熱が続き外で遊ばなくなった。薬で熱が下がらず、医療センターに行って採血をして病気がわかる。これまで親から離れたことがない甘えん坊で病棟でも親から離れない。食事も一人で出来ないし、母親が他の人と話をしても怒る。他の子はみんな一人で食事もしており、自分の子は大丈夫か心配。また母親のストレスもたまる。お父さんではだめだともいう。心配で毎日泣いている。

参加者からは、皆同じ思いをしてきたことが話されました。また、子どもは親が思う以上にしっかりしておりもう少しすれば病棟にも慣れるから心配は要らないという話もありました。

兄弟は上が5歳、下が1歳、3人男の子で家はにぎやか。家の近くに親も親戚もなく遠くから祖母が来て面倒を見てくれている。上の子どもストレスでおねしょをするようになった。

母親の代わりはいないのでやるしかない。倒れられない。

面会は週1日は父親と交代することにしたい。きっと将来はいいことがあると思っている。

お母さんは現実を受け入れつつも、前向きでした。

最近読んだ本にこんなことが記されていました。「きっとよくなる！」(本田健、サンマーク出版)という本で、その中に、“試練はご褒美を持ってやってくる”とありました。

何か問題がおきたとき、ほとんどの人はパニックに陥ります。それはこんな試練に太刀打ちできない！と最初から負けてしまうからです。私は「どんな試練も、準備が出来ているからくる！」と信じています。このことを教えてくれたユダヤ人のおばあちゃんの話をしてしまおう。(中略)彼女は言いました。「人生にはね試練は必ずやってくるの。それに負けるか、打ち勝つかで人生が決まるのよ。あなたに準備が出来ていない試練は絶対に来ないわ」「試練がやってくるのはね、あなたを大きくさせるためだと思うのよ。そして、試練に打ち勝ったときには必ずご褒美が来るものなのよ」あなたに大きな試練が訪れたとき、それに感謝しながら、にっこり笑って考えてみてください。「今度の試練がもってきたご褒美はなんだろう？」

この他に、この本には “うれしいことを幸せノートにつける” とか “幸せは得るものではなく気づくもの” など人生のメッセージがいろいろと載っています。

次回 は 2月 13日(日) 11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mailアドレス k\_likeda@yahoo.co.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/hohoeminokai/>